

不妊の約20%は子宮内膜の問題が原因です。<sup>\*1</sup>

ちゃんと調べるなら...

## エンドメトリオ 三姉妹検査

ERA・EMMA&ALICE



## 子宮内環境を整えて、大切なたまごを迎えてあげましょう！

妊娠の可能性を高めてくれる「子宮内膜の検査」をご存知ですか？大切な胚を移植するための最適なタイミングを見つけたり、子宮内環境を調べることができる、ERA・EMMA・ALICE 検査です。同時に調べることができる3つの検査を合わせて、TRIO（三姉妹）検査と呼んでいます。

ERA 検査と EMMA・ALICE 検査を使用した患者様の妊娠率が、70.6%<sup>\*2</sup>まで向上したというデータもあるんですよ！

TRIO 検査は、「着床の窓」と「子宮内細菌叢」を調べるための遺伝子検査として、世界で初めて開発されました。日本国内でも340以上の施設に導入されています。ERA・EMMA・ALICE 検査の詳細は、担当医にお尋ねください。

○ ERA（エラ）検査では、着床の可能性が高まるタイミング（着床の窓）を調べます。「着床の窓」に合わせて胚移植を行うことで、妊娠率が向上したというデータがあります。（図1参照）

○ EMMA（エマ）検査では、子宮内の細菌バランスを調べます。善玉乳酸菌（ラクトバチルス）を増やし、その他の悪玉菌を治療することで、妊娠率が向上したというデータがあります。（図2参照）

○ ALICE（アリス）検査では、EMMA 検査で検出された悪玉菌のうち、特に不妊の原因となりやすい慢性子宮内膜炎の原因菌10種の有無を報告し、慢性子宮内膜炎の予防・治療に役立てます。不妊の原因となる慢性子宮内膜炎の予防・治療に役立てます。（図3参照）

**エラ検査**  
あなたの着床の窓を調べます

- 子宮内膜が胚を受け入れるのに適した状態になり、受精卵が着床可能になるタイミングのことを「着床の窓」と呼びます。
- 「着床の窓」には個人差があります。
- わずか12時間の移植タイミングのずれによって、受精卵が着床できないことがあります。

不妊治療に通う37%位の女性は着床の窓の時期がズレています

ERAで妊娠率を25%アップ！

図1

**エマ検査**  
子宮内膜の細菌の種類と量を調べます

子宮内乳酸菌が多い群 子宮内乳酸菌が少ない群

70.6% 妊娠率	33.3%
58.8% 生児出生率	6.7%

- 「何度も胚移植しているのに、着床しない」この悩みを抱える人の約50%に子宮内フローラの乱れがあります。<sup>\*3</sup>
- 検出された菌の種類に合わせて最適な抗生剤が推奨されるので、抗生剤の使い過ぎを防ぐことができます。

図2

**アリス検査**  
慢性子宮内膜炎を起こす細菌を調べます

習慣性流産や着床不全患者では66%が罹患していると言われています

EMMA/ALICEで着床・妊娠率をアップ！

図3

\*1 日本受精着床学会 総理委員会：非配偶者間の生殖補助医療に関する不妊患者の意識調査、日本受精着床学会誌、2004；21：6-14。\*2 Moreno, Inmaculada et al. American Journal of Obstetrics & Gynecology, Volume 215, Issue 6, 684 - 703. (ERA で Receptive になった方のみを対象として、ラクトバチルス 90% 以上の女性とそうでない女性の着床率、妊娠率、出生率を比較しました)。\*3 Nanako Iwami, Miho Kawamata, Naoko Ozawa et al. J Assist Reprod Genet 40, 125-135 (2023)。\*4 Ciccinelli, Ettore et al. Hum Reprod. 2015 Feb;30(2):323-30。

エンドメトリオ（三姉妹）検査は、要件を満たした医療機関で実施された場合に限り先進医療として保険診療と併用することができます。



アイジェノミクス



公式 LINE で、検査に関するご質問にお答えしています。



LINE YouTube Twitter